

平成 27 年度 議会 活動 計画 実施 状況

活動計画	実施状況
<p>【取組内容】 (1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～ ①総合計画 「みえ県民カビジョン」及び「みえ県民カビジョン・行動計画」の策定並びに同行動計画の「成果レポート」の作成に合わせ、調査・審査を行い、知事への申し入れを行います。</p>	<p>【取組内容】 (1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～ ①総合計画 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」の策定に合わせ、調査・審査を行い、中間案に対しては11月10日に、最終案に対しては1月27日に、知事への申し入れを行い、分かりやすい県民指標の設定などが、反映されたとうえで議決しました。また、「成果レポート」については、予算決算常任委員会及び行政部門別常任委員会で調査を行い、7月30日に知事への申し入れを行い、部局間連携の徹底などの提言が反映されました。</p>
<p>②当初予算 「当初予算」については、毎年度、予算決算常任委員会を中心に調査・審査を行います。</p>	<p>②当初予算 「当初予算」については、予算総括質疑を行うなど、予算決算常任委員会を中心に慎重に審議を行い、3月22日に議決しました。</p>
<p>③個別の行政計画 個別の行政計画については、改訂時期を見据え、基本的には所管の常任委員会で調査・審査を行います。</p>	<p>③個別の行政計画 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画「三重県観光振興基本計画」「三重県新エネルギービジョン」 「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画」 「三重県人権施策基本方針」</p>
<p>④特に調査・検討を要する重要課題 県政の重要課題で、特に調査・検討を行うべき事項については、必要に応じて、特別委員会や附属機関、調査機関、検討会等を設置し、政策提言や政策立案を行います。</p>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題 ・「人口減少対策調査特別委員会」を平成27年5月13日に設置して、参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。また、9月4日には知事への申し入れを行い、新規事業に反映され、3月22日には委員長報告を行いました。 ・「地方創生に関する政策討論会議」を平成27年6月30日に設置して、町長や外部の有識者等からの意見聴取も行いつつ、限られた時間の中で集中的に議論しました。それらの成果を「地方創生に関する提言」としてとりまとめ、9月4日に知事への申し入れを行い、人口分析や県の役割、交流人口の視点などが「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に反映されました。 ・「三重県手話言語に関する条例検討会」を平成27年10月29日に設置して、有識者からの意見聴取や先進地視察など、条例の制定に向けた調査・検討を行いました。</p>
<p>⑤重点調査項目 6月に策定する年間活動計画において委員会ごとの重点調査項目を定め調査・審査を行います。</p>	<p>⑤重点調査項目 年間活動計画の中で定めた重点調査項目に基づいて、県内外調査を実施するなど、年間を通じて重点調査項目の調査・審査を行いました。</p>
<p>⑥議員勉強会 議員の政策形成能力の向上を図るため、全議員を対象とする勉強会を開催します。</p>	<p>⑥議員勉強会 第1回 平成27年 7月13日 テーマ：「人口減少社会の移住・定住促進」 第2回 平成27年12月17日 テーマ：「多様化する広報媒体と、その特徴を活かした効果的な広報」 第3回 平成28年 1月18日 テーマ：「地方創生と三重大学の役割」</p>

平成 27 年度 議 会 活 動 計 画 実 施 状 況

活動計画	実施状況
<p>(2) 県民との関係～広聴広報～ ①議長定例記者会見 議会に係る情報発信を行うため、議長定例記者会見を月1回実施します。</p>	<p>(2) 県民との関係～広聴広報～ ①議長定例記者会見 平成27年度開催実績：11回（就任記者会見を除く）</p>
<p>②広聴広報会議 効果的な広聴広報の取組について協議・調整するため、広聴広報会議を月1回程度開催します。</p>	<p>②広聴広報会議 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」の編集、「みえ県議会新聞」の編集、「みえ現場 de 県議会」の開催、「みえ県議会出前講座」の実施、「みえ高校生県議会」の開催準備、「傍聴者アンケート」の対応などについて、協議しました。 特に、「みえ県議会だより」については、見直しの協議を行い、平成28年度からは、従来の公共施設への配置に加え、新聞折込も行うこととし、紙面も新聞折込に適したタブロイド版へと移行しました。 平成27年度開催実績：11回</p>
<p>ア みえ現場 de 県議会 多様な県民の意見を取り入れる広聴機能を強化し、議会での議論に生かしていくため、県政の重要課題等を設定して、関係団体や県民に広く参加を呼びかける「みえ現場 de 県議会」を開催します。</p>	<p>ア みえ現場 de 県議会 下記のとおり2回開催し、議会での議論の参考にしました。 第1回 平成27年11月11日 テーマ：「若者の声を県政に」（名張市） 【高校生等13人（うち公募7人）、議員13人】 第2回 平成28年2月5日 テーマ：「鳥獣害に強い地域づくり」（松阪市） 【県民10人（うち公募4人）、議員14人】</p>
<p>イ みえ高校生県議会 高校生の議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」を開催します。</p>	<p>イ みえ高校生県議会 平成28年度の開催に向けて、開催要領を決定し、参加校の募集を行いました。</p>
<p>ウ みえ県議会出前講座 学校からの申込みを受けて、児童、生徒、学生に対して、三重県議会の仕組み等を学校に出向いて説明し、質疑応答を行う「みえ県議会出前講座」を実施します。</p>	<p>ウ みえ県議会出前講座 学校からの申し込みを受けて、1月19日から3月1日の間に、計8校361人の児童生徒に対して、実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が92%と肯定的な結果でした。</p>
<p>【委員会活動の振り返り】 議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与できたかという観点から、委員会（予算決算常任委員会の場合は理事会）による自己評価を毎年行います。</p>	<p>【委員会活動の振り返り】 2月定例会月会議の際に、試行として委員会活動の自己評価を行いました。（別紙「委員会活動評価総括表」のとおり）</p>

総務地域連携常任委員会活動評価総括表（平成27年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- (1) 年間活動計画の進捗度
 - ・ 4項目設定した重点調査項目に関しては、それぞれに県内外調査を行い、十分に調査が行えた。
- (2) 委員会運営の円滑度
 - ・ 委員会での調査等を踏まえ、委員長報告として、6月定例会月会議では「市町の行財政運営への支援について」、9月定例会月会議では「南部地域活性化基金の見直しについて」、11月定例会月会議では「トップアスリートの県内定着について」要望等を行った。
- (3) 議員間討議の充実度
 - ・ 議案等の中身にもよるものとは思われるが、あまり意見が出ていなかった。
- (4・5) 県内外調査の充実度
 - ・ 最前線で取り組んでいる方の意見を直接聞くことができ参考になった。
- (8) 施策への反映度
 - ・ 執行部に経過報告を求める必要があるものはなかった。
 - ・ 成果レポート、みえ県民カビジョン・第二次行動計画、第二次三重県行財政改革に関して知事に申し入れを行った結果、施策に反映された部分もあった。

2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	3.8
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
[]		
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	3.6
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
[]		
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	2.8
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
[]		

項目	評価の視点	平均点
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.9
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [・タイムリーで内容も充実しており大変良かったです。]	3.9
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来ましたか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	-
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来ましたか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	-
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.2
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	-

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

戦略企画雇用経済常任委員会活動評価総括表（平成27年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、地方創生に関する政策討論会議があり、政策討論会議の方で議論が集中する分、本委員会の議論が薄くなったように感じた。政策討論会議では様々な方の意見を聴取しており、本委員会の方でも様々な方を呼んで、意見を聞いてもよかったのではと思う。
- ・政策討論会議だけでなく、人口減少対策調査特別委員会でも同様であり、委員会等の間で調査事項を取り合うのではなく、調整を行っていく必要がある。しかし、本委員会の活動が充実していなかったというわけではない。
- ・全体として充実した委員会だった。
- ・ポストサミットの部分について議論する機会が少なかったので、次期委員会でも引き続き協議ができるようにするべき。

2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） [・行政の計画以外の調査項目を深めるべきだった。（ポストサミットなど）]	3.9
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） [・委員長の進行が巧みなおかげで円滑に進んだと思います。]	4.1
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） [・すべての項目で十分討議したとは言えなかった。]	3.2
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） []	4.0

項目	評価の視点	平均点
(5) 県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	4.1
(6) 参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来たか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	-
(7) 公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来たか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	-
(8) 施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.6
(9) 調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.4

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

環境生活農林水産常任委員会活動評価総括表（平成27年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- (1) 年間活動計画の進捗度
 - ・ 県内県外を問わず現地に行くことは良いと思う。
 - ・ 県内調査については、常任委員会の所管する事項によって性質が異なるため、回数や日程について柔軟な対応が必要ではないか。特に環境農林は現場を見るべきである。委員が共通認識を持つことが大事である。
- (2) 委員会運営の円滑度
 - ・ 適切に運営された。
- (3) 議員間討議の充実度
 - ・ 賛否が分かれた時など案件によっては活発に行われた。
 - ・ 自然に議員間討議が行われて良かった。
- (4) 県内調査の充実度
 - ・ 重点調査項目のうち、獣害対策については県内調査ができなかった。
 - ・ 県内調査は1泊2日で実施したが、もう1日欲しかった。
- (5) 県外調査の充実度
 - ・ 中身が濃く良かった。
 - ・ 視察先も適切だった。
- (8) 施策への反映度
 - ・ みえ県民カビジョン・第二次行動計画では、意見に対して修正があり、反映された。
- (9) 調査・審査への活用度
 - ・ 今年度の議員勉強会のテーマは当委員会ではあまり活用できなかった。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	3.9
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
[]		
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	4.4
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
[]		

項目	評価の視点	平均点
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 議案によってですが、充分活発に討議された。 議案によっては、積極的に行った。 〕	3.6
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 当委員会の所管事項について、もう1日必要であった。 〕	4.4
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 〕	4.4
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来ましたか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 〕	-
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来ましたか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 〕	-
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 〕	3.5
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 〕	3.9

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

健康福祉病院常任委員会活動評価総括表（平成27年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・ 現地を見る必要があるため、県内調査をもう1回増やせると良い。
- ・ 県外調査の調査先（埼玉県、富山県）は今後活用できるものであり、良かった。
- ・ 神奈川県での調査で出た意見を条例検討会の視察でも活かすことができたので良かったのではないかな。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	4.0
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	3.9
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) [健福分と病院分のボリューム差異が大きい。]	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	2.9
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) [不慣れなため、うまく発言できなかった。]	
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。	4.3
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。	4.4
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	

項目	評価の視点	平均点
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来たか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	—
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来たか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	—
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.6
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	—

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

防災県土整備企業常任委員会活動評価総括表（平成27年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- (1) 年間活動計画の進捗度
 - ・年間活動計画については、予定どおり進めることができた。
 - ・重点調査項目である建設産業の活性化については、あまり踏み込めなかった。また、入札制度は調査が十分できず、今後もチェックしていく必要がある。
 - ・RDFについては、反省点もあるが、やるべきことの方に持っていくことができ、一定の評価ができる。
- (2) 委員会運営の円滑度
 - ・発言された意見が、適宜、委員長報告に反映し、委員長報告の作成も丁寧で各委員が共有でき、円滑な委員会運営であった。
- (3) 議員間討議の充実度
 - ・RDFなど議論すべき課題については十分に議員間討議が行われ、合意形成も図られ、委員長報告にも反映できた。
- (4・5) 県内外調査の充実度
 - ・調査先も適切で充実した県内外調査であった。
- (8) 施策への反映度
 - ・みえ県民カビジョン・第二次行動計画では、委員会の意見が概ね反映された。
 - ・RDFでは執行部に経過報告を求め、再度の報告も求めている。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	3.1
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 ・建設産業の活性化にかかる重点調査項目についての調査が不十分であった。 ・入札制度改革が不十分。 〕	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	3.5
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 〕	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	3.1
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 ・議論すべき課題について十分な討議を行うことができた。討議ポイントを事前に明確にしておくことができればより良かったと思われる。 〕	

項目	評価の視点	平均点
(4)県内調査の充実度	<p>県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>[]</p>	3.3
(5)県外調査の充実度	<p>県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>[]</p>	3.4
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	<p>参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来ましたか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>[]</p>	-
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	<p>公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来ましたか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>[]</p>	-
(8)施策への反映度	<p>調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>[・RDFの総括ができたことは良かった。]</p>	3.5
(9)調査・審査への活用度	<p>議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>[]</p>	-

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

教育警察常任委員会活動評価総括表（平成27年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・調査については、良い調査先へ行け充実していたと思う。
- ・委員長にスムーズに運営いただき、たくさん発言もでき、十分審議できたと思う。施策に反映できたところもあった。
- ・教育に関わる場所であっても教育委員会が主担当部局でないため、教育長が「教育委員会では答弁できない」と発言する場面が何度かあった。他部局と共管する部分（教育施策大綱、子どもの貧困対策など）は、当委員会に担当部局を呼ぶとか、連合審査会を開催する、ということをご提案すべきだったと思う（審議が十分であったかという点から）。
- ・参考人招致は積極的な意見が議論され、良かったと思う。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	4.4
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 充分良いものでありました。 〕	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	4.1
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 ・他部局と共管している事項(教育施策大綱、子ども貧困対策など)についての調査・審査の進め方に課題を残したと思っている。 ・予備日まで使い丁寧に議論を重ねた。 ・案外早く進むのでびっくりした。 〕	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	3.5
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 特に大きな争点がない場合に議員間討議の充実を図ることは難しい。 〕	
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。	4.4
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 良い学習ができた。 〕	

項目	評価の視点	平均点
(5) 県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [・良い学習ができた。 ・特に只見高校が取り組みに大変役立った。]	4.5
(6) 参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来たか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [・参考人の意見により、賛否そのものが変わるほど役立てた。 ・今回は必要性に若干疑問があったが、今後必要な参考人招致は積極的に行うべき。 ・良い意見が聞けた。自分として勉強ができたが委員会としては？]	4.0
(7) 公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来たか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	—
(8) 施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.6
(9) 調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [・教育警察常任委員会に関するテーマが少なかったように思うし、参加できていないものもあったので。 ・内容を十分に把握し、反映させることができなかった。 ・直接のテーマではなかった。他の質問も必要ではないか。 ・委員がしっかり認識できるしくみづくりが必要。 ・個人的にはあまり活かされた議論にできなかった。 ・ダイレクトには活用しなかった。]	2.4

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

予算決算常任委員会活動評価総括表（平成27年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

（1）年間活動計画の進捗度

- ・参考人招致を行うなど、積極的な委員会運営ができた。
- ・本委員会の運営方式は、その都度議論をして改正されてきている。改正の経緯が分かる資料があればこのような議論も理解しやすいし、新人委員とも共有が図れる。
- ・前年度決算については、まず成果レポートの調査があるため、その後に行われる決算審査で何を議論するのかを明確化したほうがよい。
- ・11月定例月会議で、翌年度の当初予算の要求状況の説明があり、以前はそれに対する質疑があったが、現在は総括的質疑のみとなっており、所属していない分科会のことについて質疑をする機会がなかったことを改めて感じた。
- ・予算決算常任委員会の年間のスケジュールについては、ほぼ定着してきたと感じる。
- ・昨年4月の改選後初めての一年間の中で、新人委員が気付く部分と、経験豊富な委員が気付く部分がアンバランスになりつつある状況も見受けられる。それらを整理し、全委員が同じ土俵に乗りながら深い議論をしていく必要があると感じる。

（2）委員会運営の円滑度

- ・すべての議案・事項を丁寧に調査・審査した。
- ・委員会で十分議論し、発言があった意見や各分科会での意見については、適宜、委員長報告に反映し、本会議で報告を行った。
- ・成果レポートについては、各行政部門別常任委員会での意見を参考にしながら、予算・決算の観点から総合的、総括的な調査を行い、知事への申し入れを行った。

（3）議員間討議の充実度

- ・議員間討議については十分とは言えないので、さらに充実が必要である。

（5）県外調査の充実度

- ・しっかりと有意義な調査ができ、その後の参考人招致につながった部分もあった。

（6）参考人招致の活用度

- ・質疑応答で参考人から答弁が得られなかったところは残念だった。
- ・委員が求めているものと、参考人の話の内容に相違があったように感じた。参考人の選定には慎重を要する。
- ・2月という調査時期が、その後の議論の反映には難しい時期だった。

（8）施策への反映度

- ・成果レポートの申し入れを行い、また、予算要求段階から数々の要望を出し、施策への反映を促した。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	<p>年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・今年度の進め方については評価できるが、当初予算要求状況についての質疑のあり方については、再検討してよいのではないかと感じた。</p>	4.3
(2)委員会運営の円滑度	<p>すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p>	4.3
(3)議員間討議の充実度	<p>議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・分科会で充実した機会があれば、なかなか本委員会で討議しにくい面がある。仕方ないか。</p>	3.1
(4)県内調査の充実度	<p>県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p>	-
(5)県外調査の充実度	<p>県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・本県の方が改革の取り組みが先進的であった。</p>	4.0
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	<p>参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来ましたか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・講師をもう少し考えるべき。 ・講師の人選にはさらに慎重にしてください。参考人招致の実施は良かったと思います。</p>	3.1

項目	評価の視点	平均点
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来たか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	-
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [・成果レポートに対する知事への申し入れが、常任委員会によって量に差がある。 できるだけ一定量は出して欲しい。]	3.4
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	-

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

3 補足

3月31日の理事会において、3月22日の委員長会議で報告した上記の評価結果に以下の内容を加えることを決めた。

- ・付託議案の審査方法については、案件の内容や審査期限等を勘案して、柔軟に対応することも検討すべきである。